

山口情報芸術センター [YCAM] 教育普及プログラム

「コロガルパビリオン」

2014年8月1日(金) — 8月31日(日) 10:00—18:00 入場無料
山口市中央公園

コロガルパビリオン再開！

子どもたちが創造する〈メディア公園〉が帰ってきます

山口情報芸術センター [YCAM] では、昨年の YCAM10周年記念祭で好評を博した公園型インスタレーション「コロガルパビリオン」を1ヶ月間の期間限定で再開いたします。

コロガルパビリオンはメディアと身体の両方を使って遊ぶことができる新しい公園です。子どもたちの感覚を刺激し、自発的な「遊び」の創造を促す場として、昨年約4ヶ月間の会期中に4万7千人ほどの人々が訪れ、大盛況を博しました。その一方で、会期終了が近づくにつれ、利用者の中で会期延長を求める声が強くなり、子どもたちを中心に署名運動がスタート。約1000人の署名が集まり、今回の再開という運びとなりました。

今年のコロガルパビリオンは、子どもたちからリクエストがあったメディアテクノロジーを駆使した装置が新たに増設されるほか、YCAMで開催中の展覧会との連携プログラムを予定しています。

利用者自らが使い方を考え、運営にあたるコロガルパビリオンは、今日の社会で生きるための知恵や想像力を育む糸口になるでしょう。この機会にぜひご参加ください。



(上)「コロガルパビリオン」外観
(下)「子どもあそびはミーティング」の様子

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

みんなの声で再開する「コロガルパビリオン」



署名運動の様子

今回再開する「コロガルパビリオン」は、子どもたちが自発的に遊びを発想し、知恵を獲得していくという新しいタイプの遊び場としてYCAMが制作した公園型インスタレーションです。2013年7月から約4ヶ月の会期中に、4万7千人ほどの子どもたちがコロガルパビリオンを訪れ、大盛況を博しました。

再開の経緯、署名運動について

コロガルパビリオンを利用する子どもたちは、自らイベントを企画・開催し、参加者を募ったり、YCAMが定期的におこなう掃除やメンテナンスを手伝うなど、コロガルパビリオンのことを、一方的に与えられる〈サービス〉ではなく、自分たちで使い方を考え、その実現に向けて手を動かす、利用者のための利用者の〈環境〉として捉え、さまざまな遊びを生み出してきました。

そんな中、ほとんど毎日この場所に来ていた山口市内の小学3年生を中心とする子どもたち数人が、会期が終了する2週間前に、会期の延長を求める署名運動を開始しました。

彼らの運動は公園を飛び出し、周囲の大人も巻き込みながら、2週間あまりで約1000人の利用者から署名を集めることに成功し、YCAMへと提出。山口市も子どもたちの思いを認め、この8月から1ヶ月の期間限定で再開をすることになりました。

利用者の子供たちは、この一連の過程を通じて、遊びの創造を超えて、自分たちの手で社会を変えていく可能性に触れるという、学校ではなかなか学ぶことのできない経験を得ることができたようです。このことが、大盛況以上に、コロガルパビリオンが達成した大きな成果の1つと言えるかもしれません。

■「コロガルパビリオン」

2012年にYCAMが発表した、メディアテクノロジーを活用した多様な仕掛けと不定形な床面からなる公園型インスタレーション「コロガル公園」を、建築家ユニット「assistant（アシスタント）」との協働のもとバージョンアップさせたもの。YCAM10周年記念祭の一環として開催した。

会期：2013年7月26日～12月1日

会場：山口市中央公園

メディアでつながる山口と札幌の子どもたち—コロガルパビリオンの新機能



「子どもあそびばミーティング」の様子

コロガルパビリオンは、大小2つの円筒形の建築から構成されています。小さな方はぐるぐると猛スピードで走り回れるようになっており、大きな方は内部に設置された複雑な形状の床面を動きながら、身体感覚を捉え直すような感覚が得られます。非常に対照的な2つの建築ですが、両者ともに空間内の随所に照明や音響装置などのメディアテクノロジーが組み込まれており、利用者は試行錯誤の中で、メディアと身体の両方を活かした新しい遊びを生み出すことができます。

山口⇄札幌で繋がる、新機能がさらに充実！

今年のコロガルパビリオンでは、同時期に札幌で開催される札幌国際芸術祭の「コロガル公園inネイチャー」とコラボレーションをおこないます。

山口市だけで遊びを生み出すのではなく、札幌の子どもたちと会場同士をネットワークでつないで、一緒に新しい遊び方やルールなどを生み出せるようになります。また、子どもたちからリクエストがあった設備が新たに増設されるほか、今年7月から9月にかけて開催する展覧会「MEDIA/ART KITCHEN YAMAGUCHI—地域に潜るアジア：参加するオープン・ラボラトリー」の一環として、子どもたちとメディアテクノロジーを使った遊びを発明するワークショップを開催し、コロガルパビリオンとの連携をおこなう予定です。

■ 札幌国際芸術祭2014

札幌初の国際的なアートフェスティバル。

YCAM10周年記念祭で総合アーティスティックディレクターを務めた音楽家の坂本龍一をゲストディレクターに迎え、「都市と自然」をテーマに開催。

YCAMからは坂本龍一とのコラボレーションによるインスタレーション作品「フォレスト・シンフォニーinモエレ沼」と、YCAMと建築家・五十嵐淳とのコラボレーションによる「コロガル公園inネイチャー」が参加する。

開催期間：7月19日（土）～9月28日（日）

会場：北海道近代美術館、札幌芸術の森美術館、札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）、北海道庁赤れんが庁舎、モエレ沼公園、札幌市資料館、札幌大通地下ギャラリー500m美術館 ほか

開催概要**「コロガルパビリオン」**

2014年8月1日(金)―8月31日(日) 10:00―18:00 ※火曜休み
入場無料

対象：小学生以上 ※未就学児童は要保護者同伴
山口市中央公園

※本展示はお客様の自己責任のもと鑑賞したり、遊んだりする体験型スペースです。入場には自己責任で入場する旨をご承認いただき、安全管理には十分ご注意ください。楽しみください。

主催：公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市教育委員会
協賛：大塚製薬株式会社
機材協力：カラーキネティクス・ジャパン株式会社
技術協力：株式会社ユニバ
共同開発：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連プログラム**コロガルファクトリー**

「体」と「メディア」を用いたワークショップを開催。
「あそび」から広がるアイデアをおもいきり実験できます。
日時：8月17日(日)、24日(日) 14:00―16:00
参加無料 ※先着順
対象：小学4年生以上 定員：各回5人
会場：ホワイエ内特設会場

関連プロジェクト

札幌国際芸術祭2014
「コロガル公園 in ネイチャー」 supported by 札幌丸井三越
日時：2014年7月19日(土)～9月28日(日)
会場：札幌市資料館

関連企画**「MEDIA/ART KITCHEN (メディア・アート・キッチン) YAMAGUCHI:
地域に潜るアジアー参加するオープンラボラトリー」**

地域社会に根差した実践的な活動を展開している日本と東南アジアの若手アーティストの取り組みを紹介する参加型の展覧会。会期中には音楽家の大友良英によるコンサートのほか、参加アーティストによるワークショップやシンポジウムも開催。

会期：7月5日(土)―9月28日(日)
会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、2階ギャラリーほか
参加アーティスト/機関：HONF Foundation (インドネシア)、ヴェンザ・クリスト (インドネシア)、パニ・ハイカル (シンガポール)、オペラシ・キャッサバ (マレーシア)、田村友一郎 (日本)、YCAM地域開発ラボ (日本)